

ハイスクールガイド

～岩手県立高校案内～

このガイドは、高校への進学を目指す中学生の皆さんが、志望する高校を選択する際に活用できるよう県立高校について紹介するものです。

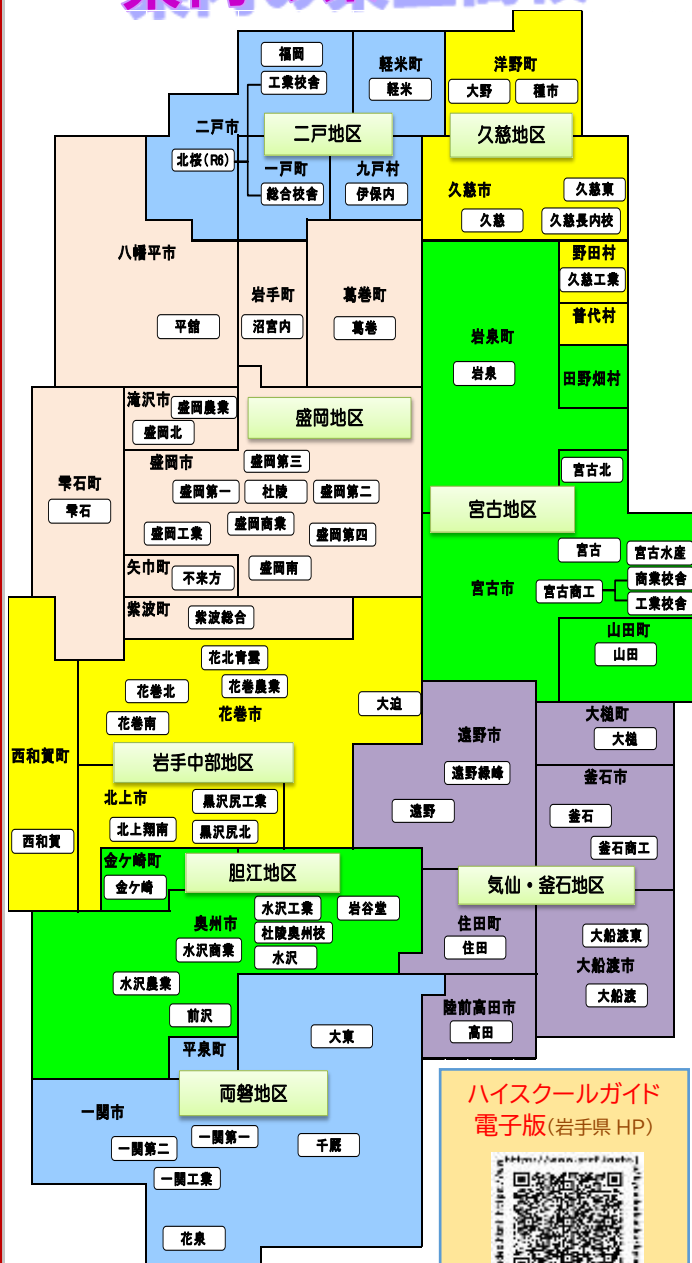
県立高校にはどのようなタイプがあり、どのようなことを学ぶことができるのか、また、興味を持っていることがどの高校で学べるか、そして、その高校の特色は何か、わかるようになっています。

併せて、各学校の部活動の設置状況を掲載していますので、高校で活躍したい部活動があるか確認することができます。

このガイドで興味のある高校を見つけたら、さらに詳しい内容をホームページなどで調べたり、各高校で実施する体験入学や文化祭などに参加して、自分の適性や将来の志望に合うか確認してみてください。

中学生の皆さんが高校で何をしたいのか、将来何になりたいのかなどをよく考え、目標をしっかりと持って受検する高校を選択できるよう期待しています。

県内の県立高校



ハイスクールガイド
電子版(岩手県 HP)

ハイスクールガイド 掲載内容

1 県立高校の概要編

- (1) このガイドで使用している用語
- (2) いわたの高校魅力化グランドデザイン for 2031
(県立高校に関するスクール・ミッション)
- (3) 魅力ある学校づくりの紹介
- (4) 県立高校の分類
 - ・普通高校
 - ・普通科系専門学科を設置する高校
 - ・総合選択制高校
 - ・総合学科高校
 - ・専門高校
 - 〔農業系の学科、工業系の学科〕
 - 〔商業系の学科、水産系の学科〕
 - 〔家庭系の学科〕
 - ・総合的な専門高校
 - ・中高一貫教育校
 - ・定時制課程や通信制課程を設置する高校
- (5) 県立高校入試の学区の制限・くくり募集
- (6) いわたで留学 (県外募集)
- (7) 部活動設置状況
- (8) 授業料・高校生等奨学給付金・奨学金制度等の支援制度
 - ・授業料などについて
 - ・高校生等奨学給付金について
 - ・奨学金制度について
 - ・いわたの学び希望基金奨学金について

2 県立高校各校の紹介編

(学校紹介シート、特色化・魅力化ビジョン)

- ・盛岡地区
- ・岩手中部地区
- ・胆江地区
- ・両磐地区
- ・気仙・釜石地区
- ・宮古地区
- ・久慈地区
- ・二戸地区

(参考) 高校再編計画における学校統合について

- ・盛岡地区における統合
- ・二戸地区における統合
- ・久慈地区における統合
- ・新たな県立高校再編計画後期計画の策定について

添付ファイル (ダウンロード集)

- ・県立高校の概要編 (一括)
- ・県立高校各校の紹介編 (学校紹介シート)
- ・県立高校各校の紹介編 (特色化・魅力化ビジョン)

このガイドで使用している用語

□ 教育課程

どの科目をどの学年でどのくらい学習するかを定めたものです。中学校とは異なり、高校では各学校が教育課程を定めることができるため、それぞれの高校で特色ある教育課程になっています。

□ 必履修科目

学校が定めている教育課程の中で、すべての生徒が学習する科目です。

□ 選択科目

学校が定めている教育課程の中で、生徒が選んで学習する科目です。

□ 学 区

全日制普通科に設定している通学区域です（※1のコース・学系を除く）。

特定の高校への入学志願者の過度の集中を避け、遠距離通学による生徒の負担を軽減するためのものです。他の学区からの入学者数に制限がある場合があります。（学区の制限については変更される場合がありますので、最新の情報を中学校から聞いてください。）

※1 盛岡南高校（体育コース）、不来方高校（芸術学系、外国語学系、体育学系）、花巻南高校（スポーツ健康科学学系、国際科学学系）

□ 高校卒業後の進路

- ・進 学 …… 大学、短期大学、高等学校専攻科、専門学校など
- ・就 職 …… 製造業、サービス業、建設業、公務員など
- ・その他 …… 進学準備のための予備校など

□ スクール・ミッション

各校の存在意義や期待される社会的役割、目指すべき学校像であり、県教育委員会では、特色・魅力ある学校づくりため、今後の県立高校の在り方の例等を「いわての高校魅力化グランドデザイン for 2031」として定めた。

□ スクール・ポリシー

高校入学から卒業までの教育活動の指針となる3つの方針のことであり、各高校が定めています。

1 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

各校に期待される社会的役割に基づき、生徒の卒業後の姿を見据えて、学校教育活動を通じて生徒にどのような資質・能力を育成することを目指すのかを定めた基本的方針

のことであり、各校の **このような力を伸ばします** を表したものです。

2 教育課程に関する編成・実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

育成を目指す資質・能力に関する方針を達成するために、どのようなカリキュラムを編成し、実施し、学習評価を行うか定めた基本的な方針

のことであり、各校の **このような学びを行います** を表したものです。

3 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

各高校に期待される社会的役割や、上記1、2に基づく教育内容を踏まえ、入学時に期待される生徒像を示す基本的な方針

のことであり、各校の **このような生徒を待っています** を表したものです。

いわての高校魅力化グランددesign for 2031 (岩手県立高等学校に関するスクール・ミッション)

1 グランددesign策定の背景

国(文部科学省)の動向

「高等学校学習指導要領(平成30年告示)」(2022.4実施)

- ・「社会に関わった教育課程」の実現
- ・各学校におけるキャリア・マネジメントの実現

中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育の構築を目指して」(2021.1)

- (新時代に対応した高等学校教育等の在り方について)
- (2) ①各高等学校の存在意義・社会的役割等の明確化(スクール・ミッションの再定義)
- ②各高等学校の人口から出口までの教育活動の指針の策定(スクール・ポリシーの策定)
- ③「普通教育を主とする学科」の弾力化・大綱化(普通科改革)
- ④産業界と一体となって地域産業界を支える革新的職業人材の育成(専門学科改革)
- ⑤新しい時代だからこそ求められる総合学科における学びの推進
- ⑥高等教育機関や地域社会等との関係構築と連携・協働した高度な学びの提供

2 グランددesignの方向性

魅力化協働パートナーとともに 特色ある教育課程を通じて 多様な生徒の学習意欲を喚起しながら可能性及び能力を最大限に伸長する 質の高い いわての高校教育

各高等学校に期待される役割

- 地域を支える人材の育成など、地方創生において重要な役割を担うことが期待される普通科等を設置する高校
- 生徒の多様な進路希望に対応できるように地域資源の活用による各系列の教育内容の充実が期待される総合学科を設置する高校

- 様々な分野の専門人材やグローバル人材等の育成を含め、生徒の多様な進路希望に応じた教育内容の充実が期待される普通科や理数科等を設置する高校
- 体育、音楽、美術、外国語、国際関係等、特色ある教育内容の充実が期待される学科・学系を設置する高校

- 本県産業の振興を担う人材の育成に向けて、多様な専門分野(農業、工業、商業、水産、家庭、福祉等)における教育内容の充実が期待される専門学科・総合学科を設置する高校

全校共通の視点

- 就職や進学等生徒の希望する進路の実現
- いわての復興教育(いきる・かかわる・そなえる)
- SDGs・グローバル・教科等横断・越境(国や地域)
- 主体的・協働的・探究的な学び

魅力化協働パートナー

- 地域の行政機関、事業者、地域活性化に取り組む機関・団体及び個人

- 大学等、国の機関又は国際機関、国際的な活動に取り組む機関・団体及び個人

- 企業、産業界研究機関、産業界振興に取り組む機関・団体及び個人

いわて県民計画(2019~2028)

- 地域に貢献する人材の育成
 - ・ふるさとを愛し、社会に貢献する意識の醸成
 - ・教育機関や地元企業などの関係機関と連携した人材の育成
 - ・産学官が一体となった次世代の産業を担うグローバル人材の育成
- 文化芸術・スポーツを担う人材の育成
 - ・文化芸術活動を担う人材育成や競技力の向上
 - 高等教育機関と連携した地域づくり・人づくりの推進
 - ・高等教育機関等と連携した高い専門性と教養を備えた人材の育成及び地元定着に向けた取組の推進

第2期岩手県ふるさと振興総合戦略

- ふるさとさとの未来を担う人づくり戦略
- 学びの場の復興の更なる推進

岩手県教育振興計画(2020.3)

- (取組の視点)
 - 岩手だからこそできる教育、やるべき教育の推進
 - 郷土に誇りと愛着を、持つ心を育み、岩手で、世界で活躍する人材を育成
 - 学びの場の復興の更なる推進

新たな県立高等学校再編計画(後期計画)(2021.5)

- (基本的な考え方)
 - 生徒の希望する進路の実現
 - 生徒が自ら希望する進路を実現できる教育環境の整備
 - 地域や地域産業を担う人材づくり
 - 生徒が自己の興味・関心に基づき、地域の社会情勢や産業振興の動向等を踏まえ、学ぶことができる教育環境の整備

県・県教育委員会による各種計画

義務教育とのつながり

特色ある高校教育の実現

- いわての復興教育
- いわてのキャリア教育
- 地域や家庭と連携・協働して進める学校づくり
- 総合的な学習の時間
- 多様な体験活動
- ICTの活用

義務教育の実践

- いわての復興教育
- いわてのキャリア教育
- 地域や家庭と連携・協働して進める学校づくり
- 総合的な学習の時間
- 多様な体験活動
- ICTの活用

教育課程の特色化の例(この他にも学校の特色に応じて多様な探究活動が可能)

地域課題探究	グローバル探究	学際融合探究	国際融合探究	先進技術探究	地域産業探究
現在及び将来の地域社会が抱える課題や地域の魅力に着目し、地域課題の解決に向けて、地域人材との連携・協働や地域資源の活用等により、実践的・探究的な学びを推進	現代的な諸課題のうち、現在及び将来の地域社会が有する課題等をより広範な視点から探究的に取り組む学びを推進	文理の枠を超えて、学際的・複合的な学問分野や新たな学問領域に即した最先端の特色・魅力ある学びを推進	グローバルな視点で各分野の学びを深化させ、国際的な機関等と連携してローカル(地域)とグローバル(国際)を融合させた学びを推進	IoTやAI等、Society5.0の到来を視野に入れて、各分野において絶えず進化する専門知識・技能を実践的なものづくり教育を通じて習得し、持続可能な産業の発展に寄与する人材育成に向けた学びを推進	地域の産業機関と連携・協働しつつ、地域や地域産業の抱える課題解決に向けて、生徒や地域の実態に応じた実践的・探究的な学びを推進
必要に応じて地域や探究科への移行も検討	必要に応じて学際・探究科への移行も検討	必要に応じて学際・探究科への移行も検討	必要に応じて学際・探究科への移行も検討	必要に応じて学際・探究科への移行も検討	必要に応じて学際・探究科への移行も検討

スクール・ポリシーを踏まえた選択的導入

通級指導	W W L	アイエー・ハイスクール
県外募集	S S H	学科・学系協働体制
遠隔教育	単位制	デジタルシステム

3 スクール・ポリシーの策定・運営方針

- ①上記3つの枠組みをそれぞれ意識しながらスクール・ポリシーを策定すること。
- ②探究的な学びを特色化の一つとして位置付けること。
- ③高校魅力化グランددesign(スクール・ミッション)に基づいて令和4年度中に策定・公表すること。
- ④魅力化協働パートナーを構成員に加えた協議会(学校運営協議会を含む)において検討・協議し策定すること。
- ⑤2031年までを期間として策定することとし、必要に応じて見直しを行うこと。
- ⑥併置校については、課程や学科ごとに策定することも構わないこと。
- ⑦協議会等においてスクール・ポリシーの評価・検証を定期的に行うこと。
- ⑧スクール・ポリシー策定後は、スクール・ポリシーを踏まえて学校経営計画等各種計画を作成すること。

魅力ある学校づくりの紹介



◆ スーパーサイエンスハイスクール (SSH)

現在、岩手県内には、文部科学省からスーパーサイエンスハイスクールに指定されている学校が2校あります。**釜石高校**（令和8年度まで）、**一関第一高校**（令和5年度まで）が指定され、理数科目を中心に、特色ある学校設定科目の授業が行われています。

◆ 探究・STEAM教育推進事業推進校

県教育委員会では、9校を「探究・STEAM教育推進事業推進校」として指定し、各校における探究的な学習をSTEAMの視点から深め、

- ・ 文理の枠を超えた学びを通じて、理数分野への興味・関心を養うこと
- ・ 理解人材やデータを収集・分析・利活用できる人材を育成すること

に取り組んでいます。

※STEAM：各教科での学習を実社会での課題発見、解決にいかしていくための教科横断的な教育

○推進校（令和5年度 9校）

盛岡第一、盛岡第三、花巻北、黒沢尻北、水沢、大船渡、宮古、久慈、福岡

◆ いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業

県教育委員会では、全県立高等学校63校において、魅力ある学校づくりを推進しています。

各学校においては、地元市町村役場や大学・研究機関、及び地元企業等と協働しながら探究的な学びに取り組むことによって、

- ・ 生徒が自立性・探究性・協働性などの資質・能力を身につけること
- ・ 生徒が地域・社会への当事者意識を持つこと
- ・ 生徒が、将来の地域や社会への担い手となること

を目指しています。

県立高校の分類①

◆ 普通高校

国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの共通教科を中心に学習し、幅広い学力と教養を身に付けるための高校です。

普通高校の生徒は、進学志望者が多い傾向があるため、各学校では学習体制や進学指導の充実を図っています。就職志望者が多い普通高校では、生徒の進路希望に対応した進路指導を行っています。また、普通科の中に専門の「コース」を設け、専門科目を学習できる学校もあります。



教科	主な学習内容(科目)
国語	現代の国語、言語文化、論理国語、文学国語、国語表現、古典探究
地理歴史	地理総合、地理探究、歴史総合、日本史探究、世界史探究
公民	公共、倫理、政治・経済
数学	数学Ⅰ～Ⅲ、数学A～C
理科	科学と人間生活、物理基礎、物理、化学基礎、化学、生物基礎、生物、地学基礎、地学
保健体育	体育、保健
芸術	音楽Ⅰ～Ⅲ、美術Ⅰ～Ⅲ、工芸Ⅰ～Ⅲ、書道Ⅰ～Ⅲ
外国語	英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲ
家庭	家庭基礎、家庭総合
情報	情報Ⅰ～Ⅱ

■ 卒業後の進路

学校によって、大学や短期大学、専門学校などへの進学者と就職者の割合は異なりますので、自分の将来の進路希望に応じた学校選択をしてください。

進学約90%

就職約10%

■ 該当校及び地図表示

◆ 盛岡学区

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| ①盛岡第一 | ②盛岡第二 | ③盛岡第三 | ④盛岡第四 |
| ⑤盛岡北 | ⑥盛岡南 | ⑦沼宮内 | ⑧葛巻 |
| ⑨平舘 | ⑩栗石 | | |

◆ 岩手中部学区

- | | | | |
|------|-----|-------|------|
| ⑪花巻北 | ⑫大迫 | ⑬黒沢尻北 | ⑭西和賀 |
|------|-----|-------|------|

◆ 胆江学区

- | | | |
|-----|-----|------|
| ⑮水沢 | ⑯前沢 | ⑰金ヶ崎 |
|-----|-----|------|

◆ 両磐学区

- | | | | |
|-------|-----|-----|-----|
| ⑱一関第一 | ⑲花泉 | ⑳大東 | ㉑千厩 |
|-------|-----|-----|-----|

◆ 気仙・釜石学区

- | | | | |
|-----|------|-----|-----|
| ㉒高田 | ㉓大船渡 | ㉔住田 | ㉕釜石 |
| ㉖遠野 | ㉗大槌 | | |

◆ 宮古学区

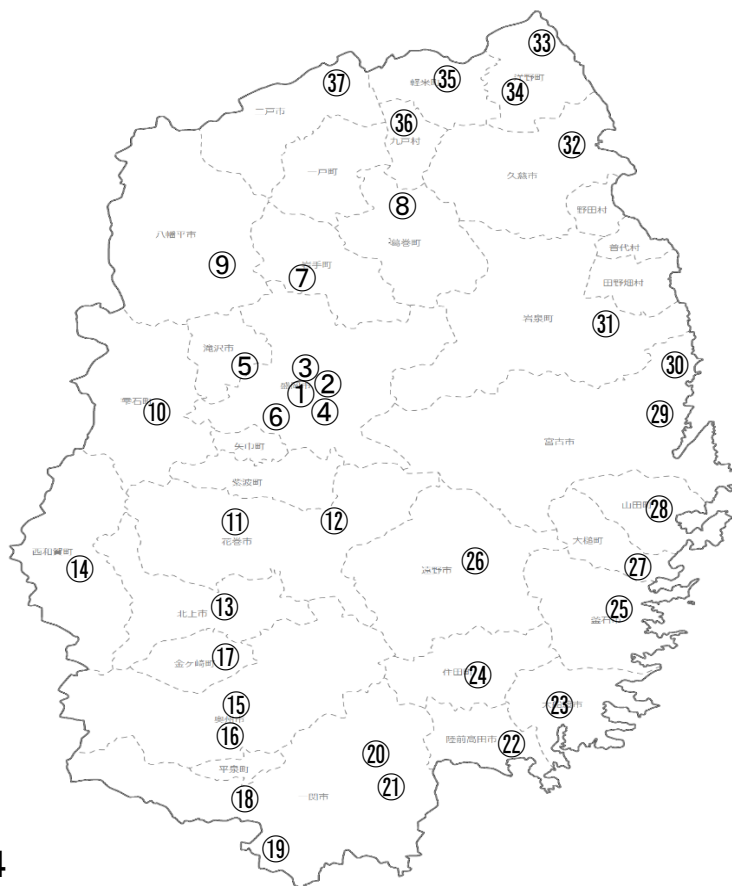
- | | | | |
|-----|-----|------|-----|
| ㉘山田 | ㉙宮古 | ㉚宮古北 | ㉛岩泉 |
|-----|-----|------|-----|

◆ 久慈学区

- | | | |
|-----|-----|-----|
| ㉜久慈 | ㉝種市 | ㉞大野 |
|-----|-----|-----|

◆ 二戸学区

- | | | |
|-----|------|-----|
| ㉟軽米 | ㊱伊保内 | ㊲福岡 |
|-----|------|-----|



県立高校の分類②

◆ 普通科系専門学科を設置する高校

理数系科目を多く学ぶ理数科や体育系科目を多く学ぶ体育科を設置する学校です。

理数科

教 科	主な学習内容（科目）
国 語	現代の国語、言語文化、論理国語、古典探究
地理歴史	地理総合、歴史総合、地理探究
公 民	公共
保健体育	体育、保健
芸 術	音楽Ⅰ、美術Ⅰ、書道Ⅰ
外 国 語	コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲ
家 庭 情 報	家庭基礎 情報Ⅰ
理 数	理数探究基礎、理数探究、理数数学Ⅰ・Ⅱ、理数数学特論、理数物理、理数化学、理数生物、理数地学、課題研究

■ 卒業後の進路

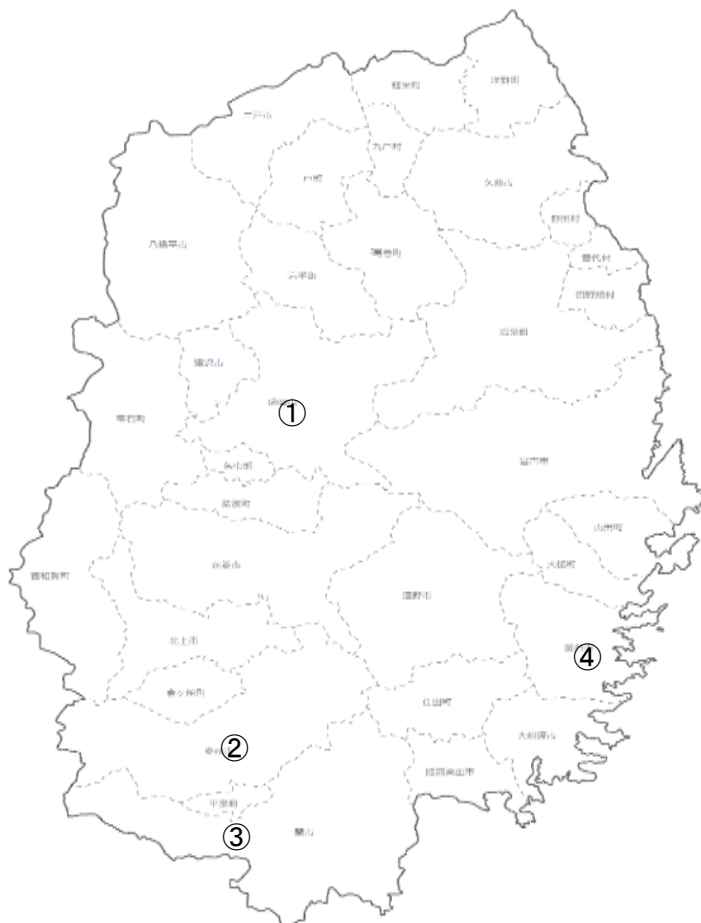
理系学部(理学、工学、医学、歯学、薬学、農学など)への進学者が多くなっています。

進学約 90%

その他10%

■ 該当校及び地図表示

学校名	設置学科
①盛岡第一	理 数
②水 沢	理 数
③一関第一	理 数
④釜 石	理 数



体育科

教 科	主な学習内容（科目）
国 語	現代の国語、言語文化、論理国語、国語表現
地理歴史	歴史総合、地理総合
公 民	公共、公民探究（学校設定科目）
数 学	数学Ⅰ、数学A、数学探究（学校設定科目）
理 科	科学と人間生活、化学基礎、生物基礎
保健体育	保健
芸 術	音楽Ⅰ～Ⅱ、美術Ⅰ～Ⅱ、書道Ⅰ～Ⅱ
外 国 語	コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅱ、論理・表現Ⅰ～Ⅱ
家 庭	家庭基礎
情 報	情報Ⅰ
体 育	スポーツ概論、スポーツⅠ～Ⅵ、スポーツ総合演習

■ 卒業後の進路

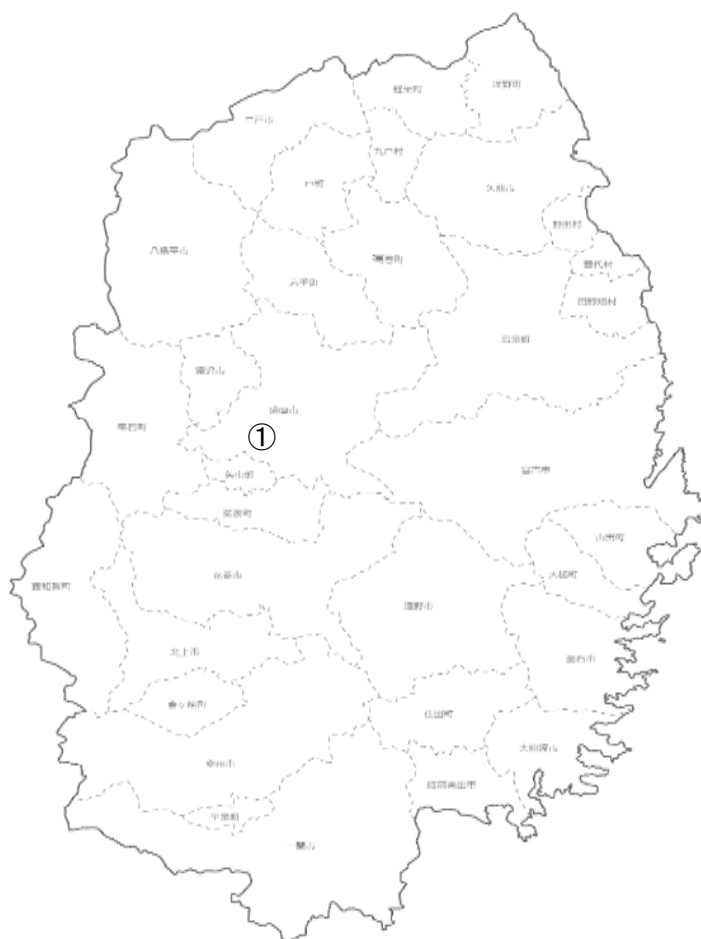
大学や短期大学、専門学校への進学が多くなっています。

進学約80%

就職約20%

■ 該当校及び地図表示

学校名	設置学科
①盛岡南	体 育



県立高校の分類③

◆ 総合選択制高校

普通科に人文理数、芸術、体育といった学びの分野(「学系」と呼びます。)を設け、志願の際に自分の興味・関心、進路志望に応じて学系を選択して受検します。基本的には、志願時に選択した学系の科目を中心に授業を受けますが、学系の枠を超えて自由に選択できる科目も開設しています。

総合選択制高校	学系	主な学習内容(科目)	
		共通	選択
	人文理数 芸術 国際科学 体育 など	現代の国語、言語文化、地理総合、歴史総合、公共、数学Ⅰ、数学A、科学と人間生活、生物基礎、体育、保健、音楽Ⅰ、美術Ⅰ、書道Ⅰ、英語コミュニケーションⅠ、家庭基礎、情報Ⅰ、	人文・理数(人文・自然科学)学系：政治・経済、数学Ⅲ、物理 芸術学系：音楽理論、声楽、ビジュアルデザイン、陶芸 外国語(国際科学)学系：フランス語、ドイツ語、ハングル 体育(スポーツ健康科学)学系：スポーツ概論、スポーツ総合演習など

■ 卒業後の進路

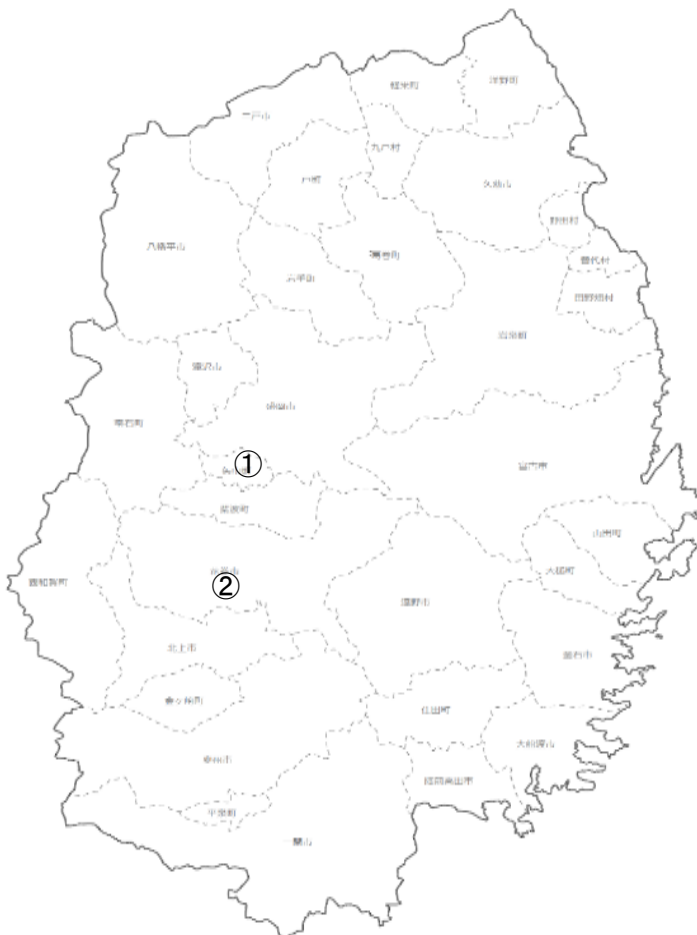
普通科と同様に、大学や短期大学、専門学校への進学が多くなっています。芸術、国際、外国語、体育系の学系は、専門性をさらに磨く方向での進学も見られます。

進学約90%

就職約10%

■ 該当校及び地図表示

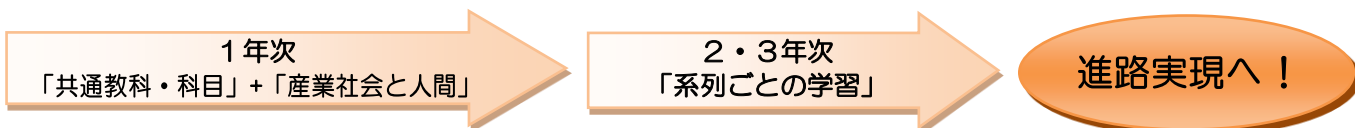
学校名	設置学科	学系
		①不來方
②花巻南	普通	人文・自然科学 スポーツ健康科学 国際科学



県立高校の分類④

◆ 総合学科高校

将来の進路について考え、共通科目と専門科目にわたる幅広い科目の中から、自分で選択し学習できる学校です。具体的には、1年次の「産業社会と人間」において「将来就きたい職業」「生き方」について深く考えるとともに、「どのような科目を選ばよいか」などを学習します。その上で、2年次以降は、複数の学びの分野(総合学科高校では「系列」と呼びます)のうち、自分が将来志望する進路や資格取得にあった系列を選択します。また、学習したい共通科目や専門科目を自分で選択して時間割をつくり、総合的に学習することができる単位制高校です。



「産業社会と人間」について

この科目は、全員が原則として1年次に履修することとなっており、総合学科高校における特色ある授業です。この科目を学ぶことによって現代の産業社会への理解を深め、将来の自分の目標や進路を明確にし、2年次からの系列の選択に結びつけていきます。例として、次のような授業を行っています。

4～7月

- ・ 職業調べ、系列ガイダンス
- ・ 系列体験学習
- ・ 社会人講師による講演

8～11月

- ・ 企業見学、上級学校の見学
- ・ 進路希望調査
- ・ 科目選択説明会

12～3月

- ・ 課題研究学習会（発表会）
- ・ 卒業生から学ぶ
- ・ ライフプラン作成

「単位制」について

単位制とは、3年間で必要な単位を修得すると卒業することができるという制度です。1単位とは、ある科目を週あたり1時間、1年間学習することを意味します。



「課題研究」について

「課題研究」とは、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する科目であり、主に3年次で履修します。

課題研究の主な流れ

- ① 課題の設定： 書物、ネット検索、見学などを通して現状を認識した上で課題を設定し、設定した課題について仮説を立てます。
- ② 計画の立案： 資料等を収集し、調査・実験・実習の計画を立てます。また、課題解決に向けた手順も計画します。
- ③ 計画の実施： 計画に従って実施し、実施記録をつけたり、正確なデータを収集します。
- ④ 反省・評価： 実施記録を整理しながら、分析・考察の結果をまとめ、報告書を作成して発表します。また、反省・評価を行い、次の課題に発展させたりします。

総合学科高校	系列	主な学習内容（科目）	
		共通	選択
			系列選択科目
人文科学 自然科学 生活福祉 情報環境 産業工学 海洋科学 など	共通教科・科目 〔原則履修科目〕 産業社会と人間	人文→日本史探究、音楽 I など 自然→生物基礎、物理 など 生活→食文化、服飾手芸 など 情報→ビジネス基礎、簿記 など 環境→野菜、草花、森林科学 など 産業工学→機械工作、製図 など 海洋→小型船舶、船舶運用 など	政治・経済、数学B、発展英語、中国語 I、スポーツV、フードデザイン、子どもの発達と保育、服飾手芸、草花、植物バイオテクノロジー、工業技術基礎、情報処理、音楽理論、ビジュアルデザイン、生活の書、社会福祉基礎 など

■ 卒業後の進路

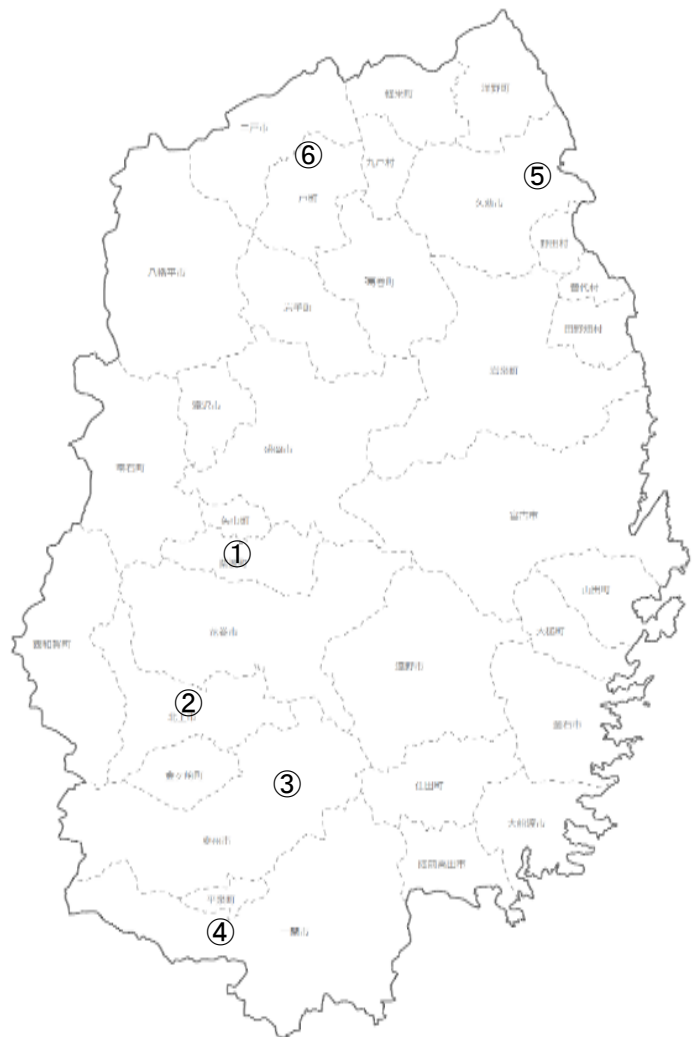
様々な系列があり、選択できる学習内容も幅広いことから、進路についても多様となっています。学習内容を自分で選択できることから、将来の進路目標に自主性を持って取り組むことができます。

進学約 65%

就職約 35%

■ 該当校及び地図表示

学校名	設置学科		
	系列	主な学び	
①紫波総合	総合	人文・自然	普通
		福祉・健康	福祉
		情報・経済	商業
		ライフデザイン	家庭
		エコジ・フード	農業
②北上翔南	総合	人 文	普通
		自 然	普通
		情 報	商業
		環 境	家庭 農業
③岩谷堂	総合	生活・福祉	家庭 福祉
		生物生産	農業
		産業工学	工業
		流通情報	商業
		人文科学	普通
④一関第二	総合	人 文	普通
		自 然	普通
		福 祉	福祉
		環境・生活	農業 家庭
		ビジネス	商業
⑤久慈東	総合	人文科学	普通
		自然科学	普通
		食 物	家庭
		介護福祉	福祉
		環境緑化	農業
		海洋科学	水産
		情報ビジネス	商業
⑥北 桜 (仮称)	総合	人文・自然	普通
		情報ビジネス	商業
		生活文化	家庭
		介護福祉	福祉



県立高校の分類⑤

◆ 専門高校

農業、工業、商業、水産、家庭などの専門的な教育を主とする高校で、本県の産業を支える将来のスペシャリストの育成を目指しています。それぞれの専門科目の学習を生かした資格取得が可能です。また、社会人の一歩手前の重要な体験としてインターンシップの実施も充実しており、就職後の離職率も低い傾向があります。

一方、専門高校だから大学などへの進学が難しいという訳ではなく、推薦入試などを活用した進学も可能です。

	大学科	主な学習内容(科目)		
		共通		選 択 (専門科目)
		専門科目		
専 門 高 校	農 業	共通教科・科目	農業と環境、課題研究	総合実習、作物、野菜、果樹、草花、畜産、農業機械、食品製造、植物バイオテクノロジー、森林科学、農業土木施工、造園計画、測量 など
	工 業		工業技術基礎、課題研究	製図、機械工作、原動機、自動車工学、電気機器、プログラミング技術、建築構造、設備計画、土木施工、化学工学、インテリア計画 など
	商 業		ビジネス基礎、課題研究	総合実践、マーケティング、商品開発と流通、簿記、財務会計Ⅰ、原価計算、情報処理、プログラミング ソフトウェア活用など
	水 産		水産海洋基礎、課題研究	総合実習、海洋情報技術、漁業、航海・計器、船用機関、船舶運用、海洋生物、小型船舶、食品管理、ダイビング、マリンスポーツ など
	家 庭		生活産業基礎、課題研究	消費生活、生活産業情報、生活と福祉、フードデザイン、ファッション造形基礎、食文化、調理、栄養、食品衛生、公衆衛生 など

農業系の学科

農業についての技術や知識を学習します。専門科目では、農場などでの実習が多く行われています。主に作物や野菜、果樹、草花の生産技術を学ぶ学科、家畜の飼育管理を学ぶ学科、農林畜産物を利用した食品製造や加工を学ぶ学科、農業に関する土木や造園技術を学ぶ学科などに分けられます。



■ 卒業後の進路

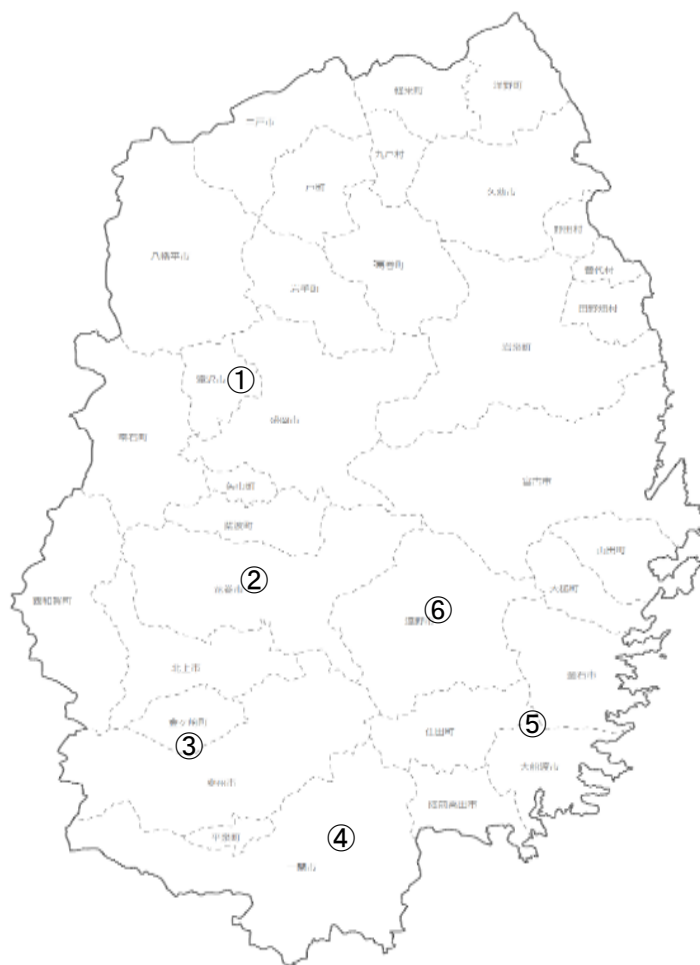
就職は農業関連産業の業種が多いですが、その他にも様々な業種に進んでいます。

進学約 45%

就職約 55%

■ 該当校及び地図表示

学校名	設置学科
①盛岡農業	動物科学
	植物科学
	食品科学
	人間科学
	環境科学
②花巻農業	生物科学
	環境科学
③水沢農業	食農科学
	農業科学
④千 厩	生産技術
⑤大船渡東	農芸科学
⑥遠野緑峰	生産技術



工業系の学科

社会の生産活動や基盤を支える技術を学習します。関連する資格や検定の取得にも力を入れています。主に機械、電気、電子、化学、材料といった、ものづくりに関する技術を学ぶ学科、土木、建設、海洋開発といった、社会基盤整備に関する技術を学ぶ学科、建築、設備、インテリアといった、人々の暮らしに関する技術を学ぶ学科などに分けられます。



■ 卒業後の進路

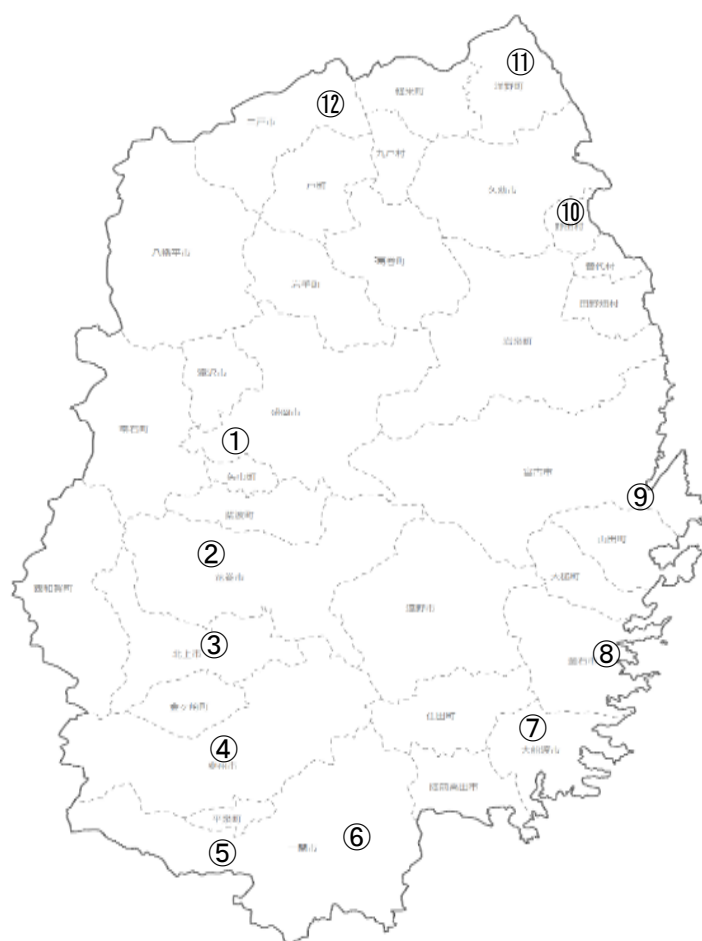
企業や団体への就職者が多く、学科で学んだ専門性を生かせる仕事の求人が多い特徴があります。

進学約25%

就職約75%

■ 該当校及び地図表示

学校名	設置学科
①盛岡工業	機 械
	電 子 機 械
	電 気
	電 子 情 報
	土 木
	工 業 化 学
②花北青雲	建 築 ・ デ ザ イ ン
	情 報 工 学
③黒沢尻工業	機 械
	電 気
	電 子 機 械
	土 木
	材 料 技 術
④水沢工業	機 械
	電 気
	設 備 シ ス テ ム
⑤一関工業	イ ン テ リ ア
	電 気 電 子
⑥千 厩	電 子 機 械
	土 木
⑦大船渡東	産 業 技 術
⑧釜石商工	機 械 電 気
	機 械
⑨宮古商工 (工業校舎)	電 気 電 子
	機 械 シ ス テ ム
⑩久慈工業	機 械 シ ス テ ム
	電 気 シ ス テ ム
⑪種 市	電 子 機 械
⑫北 桜 (仮称)	建 設 環 境
	海 洋 開 発
	機 械 シ ス テ ム
	電 気 情 報 シ ス テ ム



商業系の学科



産業社会や企業における、ビジネス人材としてのスペシャリストを目指した学習を行います。関連する資格や検定の取得にも力を入れており、主に、商業や流通を学ぶ学科、会計実務を学ぶ学科、情報処理を学ぶ学科などに分かれます。

■ 卒業後の進路

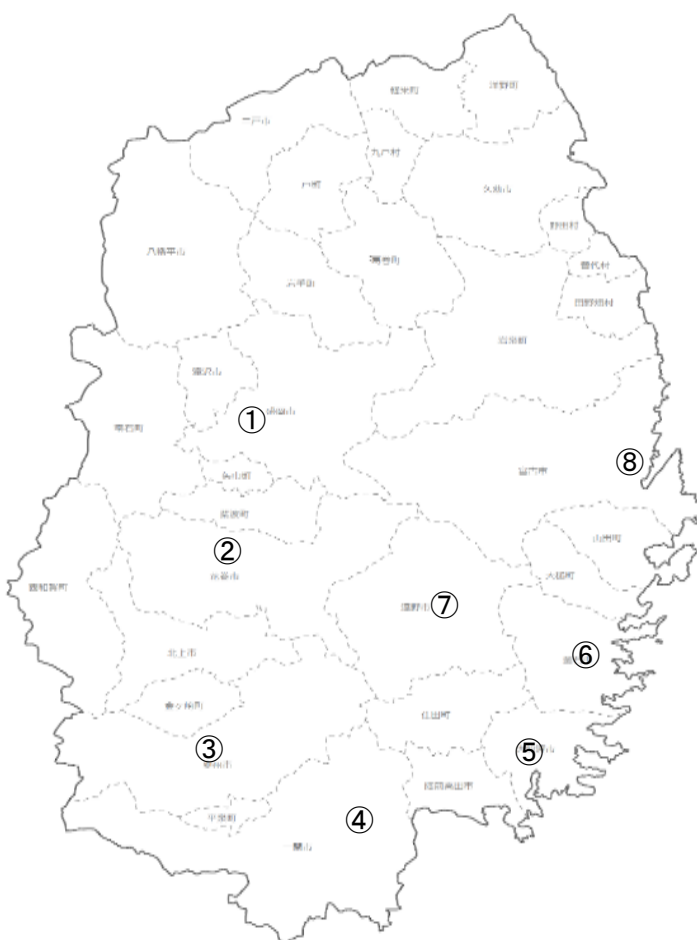
商業に関するスキルはどのような業種でも必要とされますので、多様な進路が考えられます。

進学約50%

就職約50%

■ 該当校及び地図表示

学校名	設置学科
①盛岡商業	流通ビジネス
	会計ビジネス
	情報ビジネス
②花北青雲	ビジネス情報
③水沢商業	商業
	会計ビジネス
	情報システム
④大東	情報ビジネス
⑤大船渡東	情報処理
⑥釜石商工	総合情報
⑦遠野緑峰	情報処理
⑧宮古商工 (商業校舎)	総合ビジネス
	流通ビジネス
	情報ビジネス



水産系の学科

船舶運航、漁船漁業、つくる・とる・そだてる漁業、水産食品の加工や流通・販売、小型船舶、ダイビングなど、海・船・魚について学びます。



卒業後の進路

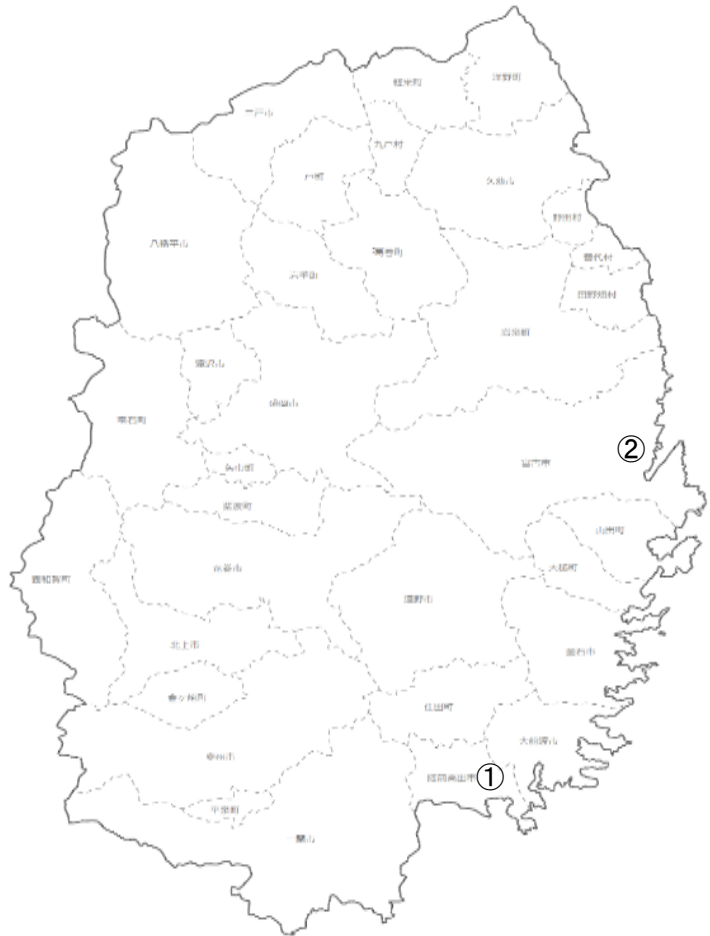
専攻科漁業科や水産系大学などへ進学したり、漁業、海運業、水産食品製造業などへ就職したりしています。

進学約30%

就職約70%

該当校及び地図表示

学校名	設置学科
①高 田	海洋システム
②宮古水産	海 洋 生 産



家庭系の学科

人々の生活の質の向上に関する技術と知識を学びます。学校によって、衣食住の基本となる知識を学ぶコースや保育や高齢者介護に関する知識と技術を学習するコースに分かれています。また、食物文化科や食物科など、調理師養成を目的とした学科もあります。



■ 卒業後の進路

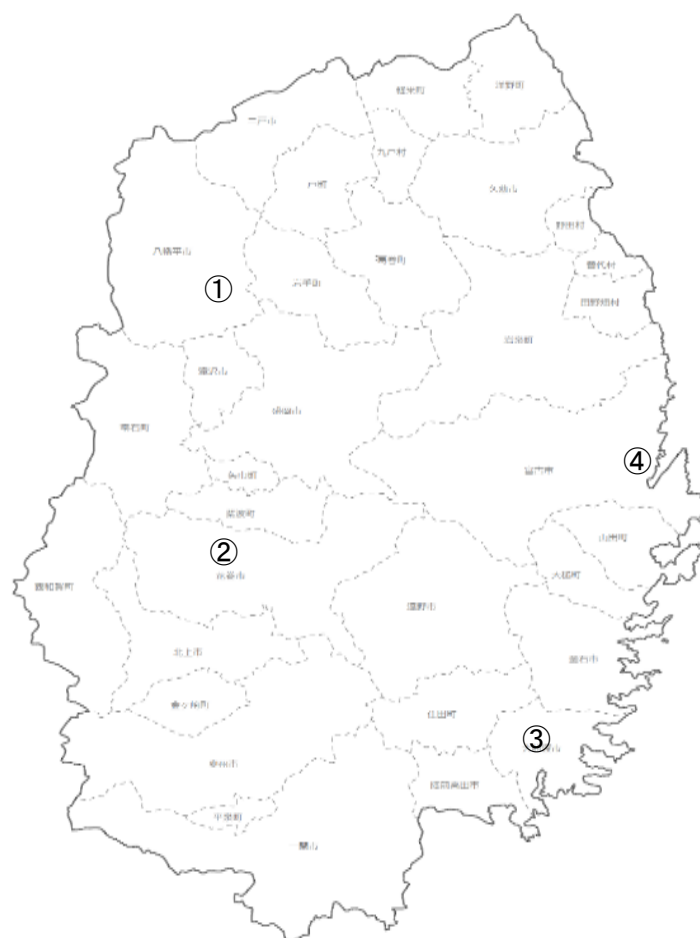
大学や短期大学、専門学校などへの進学者と就職者の比率は、おおよそ45:55です。調理師養成を目的とした学科においては、関連した分野への就職が多くなっています。

進学約45%

就職約55%

■ 該当校及び地図表

学校名	設置学科
①平 館	家政科学
②花北青雲	総合生活
③大船渡東	食物文化
④宮古水産	食 物



県立高校の分類⑥

◆ 総合的な専門高校

複数の専門学科を併置し、所属する学科の専門科目以外に、他の専門分野の教科・科目を選択(相互選択)して学習することができる専門高校です。

総合的な専門高校	大学科	主な学習内容(科目)	
		共通	選択(相互選択)
			専門科目
農業	共通教科・科目	農業と環境、課題研究、野菜、草花、食品製造、植物バイオテクノロジー など	簿記、ビジネス基礎、生活と福祉、フードデザイン、生物活用、機械基礎Ⅰ、機械基礎Ⅱ、電気技術基礎、制御技術基礎、工業技術基礎 など
工業		工業技術基礎、課題研究、製図、機械設計、電気基礎、電子回路 など	
商業		ビジネス基礎、課題研究、総合実践、経済活動と法、簿記、原価計算 など	
家庭		生活産業基礎、課題研究、子どもの発達と保育、子ども文化、調理、食品 など	

■ 卒業後の進路

大学や短期大学、専門学校などに進学する者と、就職する者の比率はおおよそ4:6程度です。工業系は学科と関連した進路が多くなっています。農業系・商業系・家庭系は学科関連に限定されておらず、多様な方面に進んでいます。

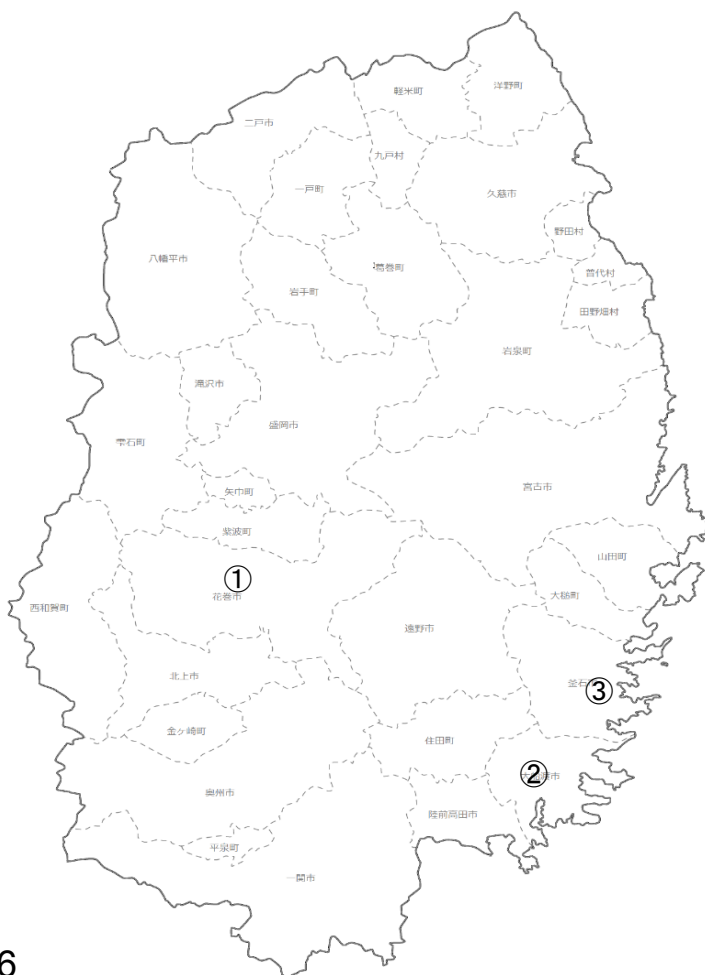
進学約 40%

就職約 60%

■ 該当校及び地図表示

(専門高校と重複して記載しています)

学校名	設置学科	
①花北青雲	工業	情報工学
	商業	ビジネス情報
	家庭	総合生活
②大船渡東	農業	農芸科学
	工業	機械電気
	商業	情報処理
③釜石商工	工業	機械科、電気電子
	商業	総合情報



県立高校の分類⑦

◆ 中高一貫教育校

中学校と高校の課程に一貫性を持たせ、体系的な教育方式を行っている学校です。

県内には県立中学校と一体となって設置される**併設型**と、市町村立の中学校と県立高校が連携して教育を行う**連携型**があります。

併設型中高一貫教育校	(選抜)	中学校	(選抜は行わない)	高等学校
------------	------	-----	-----------	------

連携型中高一貫教育校		中学校	(簡便な方法)	高等学校
------------	--	-----	---------	------

【併設型】 ①一関第一高校（一関第一高等学校附属中学校を併設）

附属中学校から一関第一高校に入学を希望する場合は、入学願を提出することになります。

【連携型】 ②軽米高校（軽米中学校と連携）、③葛巻高校（葛巻町内中学校と連携）

連携先の高校に進学する場合は、一般入試の日に国語、数学、社会、英語、理科の5教科に関する基礎学力を確認の上、調査書および面接の結果に基づき合格者が決定されます。

■ 該当校及び地図表示

学校名	設置学科
①一関第一	普通 理数
②軽米	普通
③葛巻	普通



県立高校の分類⑧

◆ 定時制課程や通信制課程を設置する高校

定時制課程は、夜間又は特別な時間帯などに授業を行う課程です。

定時制課程の中には、**多部制・単位制の学校があり**、夜間までの特定の時間帯で授業を行なう課程(部)を複数組み合わせることで設置しています。生徒はいずれかの時間帯に所属して学ぶことができます。

また、通信制課程は自宅学習とレポート提出、定期的なスクーリング出席により学習する課程です。

定時制課程	(夜間又は特別な時間帯などに授業)	夜間
		17時～21時

※ 時間帯を長くして科目を多く履修することにより、3年で卒業可能な学校があります。

多部制・単位制高校	昼間部 (1部、2部)	夜間部 (3部)
	9時～17時	17時～21時

通信制課程	レポート(自宅学習)主体、スクーリング(面接指導)、試験で単位取得
-------	-----------------------------------

※特定の時間帯を複数設置、単位制で生徒一人ひとりが時間割を決めます。
 ※所属する部以外の部の科目を履修することにより、3年で卒業も可能。
 ※表中の時間は目安であり、授業を行う時間帯は学校ごとに異なります。

■ 卒業後の進路

大学や専門学校などへの進学者と就職者の比率は、おおよそ 55:45程度です。学校によってその割合は異なりますので、自分の将来の進路志望に応じた学校選択をすることが大切です。

進学約55%

就職約45%

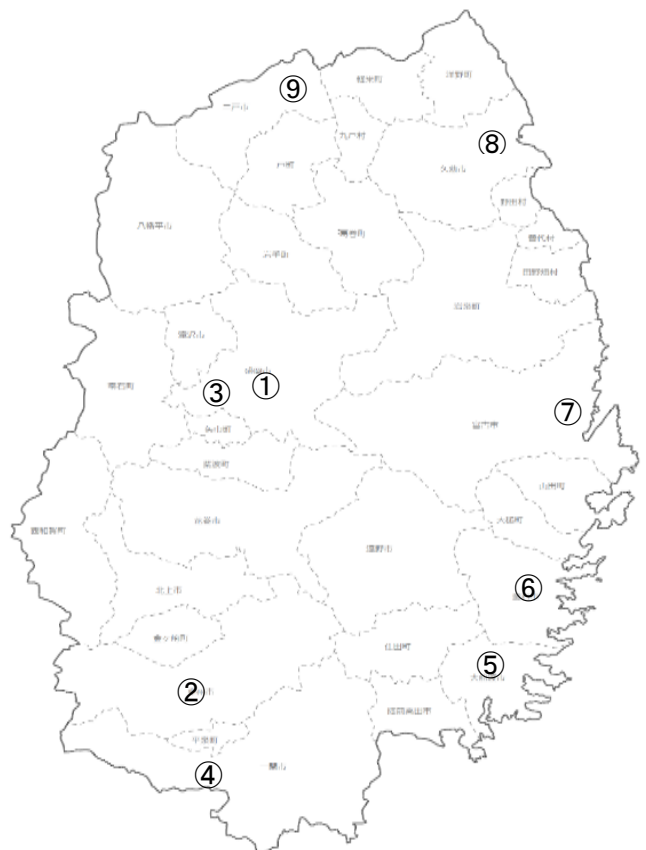
■ 該当校及び地図表示

◆ 定時制高校

学校名	設置学科	多部制	単位制
①杜陵	普通	○	○
②杜陵奥州校	普通	○	○
③盛岡工業	工業		
④一関第一	普通		
⑤大船渡	普通		
⑥釜石	普通		
⑦宮古	普通		
⑧久慈長内校	普通	○	○
⑨福岡	普通		

◆ 通信制高校

学校名	設置学科
①杜陵(通信制)	普通
②杜陵奥州校(通信制)	普通
⑦宮古(通信制)	普通



県立高校入試の学区の制限について

岩手県の県立高校入試は、推薦入試と一般入試があります。

受検では、原則として学区内の高等学校に出願しなければならないとされていますが、特例として、推薦入試と二次募集には学区の制限はありません。また、一般入試でも下記(図)のとおり、専門学科と総合学科には学区の制限がなく、学区のある普通科においても学区外の高等学校に出願はできますが、各高等学校の学区外からの入学許可は募集定員の10%以内としています。

ただし、平成27年度入試からは、志願者が募集定員に満たない場合、募集定員の10%を越えて入学を許可することもできるとしています。

なお、学区の制限については、募集する学科によっても異なりますので、注意してください。

☆ 全日制の普通科には、学区の制限がある場合があります。

☆ 盛岡南高校（体育コース）、不来方高校（芸術・外国語・体育）、花巻南高校（スポーツ健康科学・国際科学）には、学区の制限はありません。

☆ 総合学科高校には、学区の制限はありません。

☆ 農業高校及び農業系の学科には、学区の制限はありません。

☆ 工業高校及び工業系の学科には、学区の制限はありません。

☆ 商業高校及び商業系の学科には、学区の制限はありません。

☆ 水産高校及び水産系の学科には、学区の制限はありません。

☆ 家庭系の学科には、学区の制限はありません。

☆ 体育科には、学区の制限はありません。

県立高校入試のくくり募集について

入試の時点では学科を分けず一括して募集・選抜することを「くくり募集」といいます。県内の高校でくくり募集を行っている学校・学科は次のとおりです。

学校名	学科名
盛岡第一高校	普通・理数科
水沢高校	普通・理数科
一関第一高校	普通・理数科
釜石高校	普通・理数科



いわて留学(県外募集)

いわて留学



岩手県立高等学校への県外からの志願 (いわて留学) について

【いわて留学】

岩手県教育委員会では、岩手県立高等学校の入学者選抜において、県外からの志願者を募集しています。令和5年入学者選抜では、15都道府県から25名の志願者がありました。なお、令和6年度の募集については、令和6年度岩手県立高等学校入学者選抜実施要項でご確認ください。(実施要項については、例年10月下旬ころに公表しています。)

■令和5年度入学者選抜において募集を行った学校・学科の紹介

👉いわて留学

- ・ 学校紹介ページ
- ・ URL : <https://iwatepref-edu.note.jp/n/ne46e781b8fda>
- ・ QRコード :





令和5年度 部活動 設置状況

各県立高校では次のとおり様々な部活動が行われています（同好会も含む。柔剣道、茶華道など、複数の活動が一緒になっている部もあります）。

男女とも活動がある場合は○、男子のみの活動は☆、女子のみの活動は◇で示しています。詳しくは学校に確認してください。（新入生の入部を募集する部活動を記載しています。）

〔 全日制課程 〕

〈 運動部 〉

学校名	主な部活動																その他				
	硬式野球	弓道	剣道	柔道	サッカー	バレーボール	ハンドボール	ラグビー	水泳	スキー	ソフトテニス	ソフトボール	卓球	テニス	登山（山岳）	バスケット		バドミントン	陸上競技	体操（新体操）	
盛岡第一	☆	○	○	○	☆	○	☆	☆	○		○		○	○	○	○	○	○		○	☆軟式野球
盛岡第二						◇	◇				◇		◇			◇	◇	◇	◇		◇なぎなた
盛岡第三	☆	○	○		☆	○	○	☆	○	○	○		○	○		○	○	○	◇		○（ボート、空手）
盛岡第四	☆		○		☆	○	○		○			◇	○	○	○	○	○	○			
盛岡北	☆		○	○	☆	○		☆	○		○	◇	○	○		○	○	○	○		水泳・体操は外部のクラブチームで活動
盛岡南	☆		○	○	☆	○	○	☆	○	○				○	○	○	○	○	○		○ボクシング
不来方	☆	○		○	○	○	○	☆	○		○		○	◇		○	○	○			○（ホッケー、カヌー、空手）
盛岡農業	☆	○		○	☆	☆				○	○	◇	○		○	○	○	○			○（自転車、スケート、相撲）
盛岡工業	☆			○		○		☆	○		○		○	○	☆	○		○			○（ウエイトリフティング、スケート、アーチェリー） ☆レスリング
盛岡商業	☆	○		○	☆	○	○		○		○		○			○	○	○			☆軟式野球
沼宮内											◇		○								○（ホッケー、フリースポーツ）
葛巻	☆		○		☆	◇					◇		○			○		○			（○柔道：休部中）
平舘	☆				☆	◇				○	○		○		○	○		○			☆相撲
雫石											☆						○				○（ボート、スキー（特設））
紫波総合	☆	○		☆		○	☆					◇				○		○			○自転車
花巻北	☆	○	○	○	☆	○	○		○		○		○	○		○	○	○			○アーチェリー
花巻南	☆	○	○		☆	◇	○		○		○	◇	○			○		○	◇		
花巻農業	☆	○		○		◇	☆				○	◇	○				○	○			○ボクシング
花北青雲	☆			○	○	○					○	◇	○				○	○			
大迫		○		○											○		○				○自転車 （○山岳部：休部中）
黒沢尻北	☆	○	○	○	☆	○		☆	○		○		○		○	○	○	○			
北上翔南	☆	○	○		☆	○	◇				○	◇	○			○	○	○	◇		○フェンシング
黒沢尻工業	☆	○	○	○		☆		☆	○		○		○	○	☆	☆	○	○			○ボクシング ☆（軟式野球、ボート）
西和賀	☆																○	○			○ボート
水沢	☆	○	○		○	○	○		○		○		○		○	○	○	○			○ウエイトリフティング
水沢農業	☆				☆	◇					◇		○			☆	○	○			○（総合運動部 ボクシング、自転車、馬術）

〈 運動部 〉

学校名	主な部活動																その他			
	硬式野球	弓道	剣道	柔道	サッカー	バレーボール	ハンドボール	ラグビー	水泳	スキー	ソフトテニス	ソフトボール	卓球	テニス	登山(山岳)	バスケット		バドミントン	陸上競技	体操(新体操)
水沢工業	☆		○	○	☆	○	☆				○		○		○	☆		○		○ボクシング
水沢商業	☆	◇				◇					○	◇	○			○	○	○		
前 沢	☆										○		○			○	○			
金ヶ崎	☆	○			☆	◇					○	◇	☆			○		○		
岩谷堂	☆	○	○		☆	○					◇	◇	○			○	○	○		○ウエイトリフティング
一関第一	☆	○	○		☆	○		○			○	◇	○			○	○	○		☆軟式野球
一関第二	☆	○		○	☆	◇		○			○	◇	○			○	○	○		○フェンシング
一関工業	☆	○			☆	○	○	☆			○		○			○		○		
花 泉	☆	○														☆	○			
大 東	☆	○				☆					◇	◇	○			☆	○	○		
千 厩	☆	○	○	○	☆	○					○	◇	○		○	○	○	○		☆ボクシング
高 田	☆			○	☆	○		○			○	◇	○			○		○		
大船渡	☆	○		○	☆	○		○			○	◇	○			○	○	○		○空手
大船渡東	☆	○		☆	☆	○		☆			○		○			○		○		
住 田	☆					◇					◇					☆		○		【前期】 ○アーチェリー・特設運動部 【後期から】 ○総合運動部
釜 石	☆	○	○		☆	○		☆	○		○		○			○	○	○		○(ボクシング、空手)
釜石商工	☆	○			☆			☆			○					○	○	○		○(空手、なぎなた)
遠 野	☆	○	○		☆	○					○	◇				☆	◇	○		
遠野緑峰	☆				☆	◇												○		
大 槌	☆	○			☆	◇					◇		○			○	○			
山 田	☆															◇		○		○(ボート)
宮 古	☆		○	○	☆	○		☆			○		○			○		○		○(ボート、ヨット、空手)
宮古北													○				○			○スポーツレクリエーション
宮古商工	☆	○	○	○	☆	○		○			○	◇	○			○		○		○(ヨット、レスリング)
宮古水産		○		○									○			○	○			○(ボクシング、マリンスポーツ)
岩 泉	☆	○			☆	◇					○		○			◇		○		○ボクシング
久 慈	☆		○	○	☆	○	☆				○	◇	○			○	◇	○		
久慈東	☆	○	○	○	☆	○					○	◇	○			○	○	○		
久慈工業	☆			○							○		○			☆				○ウエイトリフティング
種 市						☆					○		○			◇	◇	○		○レスリング
大 野	☆					◇					○		○			☆				
軽 米	☆		○		☆	◇					○		○			○		○		※サッカーは同好会
伊保内	☆	○				○							○							
福 岡	☆	○	○	○	☆	○		○			○		○			○		○		
福岡工業	☆	○		○	☆								○	○		☆				
一 戸	☆	◇	○	○		○					◇	◇	○			○				○なぎなた

※北桜(仮称)については、福岡工業、一戸の設置部活動を参考としてください。

〈 文化部 〉

学校名	主な部活動												その他	
	囲碁将棋	語学・国際理解	演劇	音楽	科学(自然科学)	軽音楽	茶道	華道	写真	書道	吹奏楽	文芸・文学研究		美術・芸術
盛岡第一	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○(物理、化学、生物、天文)
盛岡第二	◇	◇	◇	◇			◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇(箏曲、マンドリン・ギター、生物、JRC)
盛岡第三	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
盛岡第四	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○(バトントワリング)
盛岡北		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○家庭研究
盛岡南			○	○		○	○			○	○		○	
不来方		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○工芸
盛岡農業	○		○				○	○	○	○		○		
盛岡工業	○		○			○	○	○			○	○	○	○(無線、化学、マイコン、天文、自動車、ギター、土木、機械、メカトロ、電気、建築、工業化学、デザイン)
盛岡商業								○	○	○	○		○	○(商業研究、ワープロ、情報処理研究)
沼宮内	○						○				○		○	
葛巻														○(郷土芸能、ビジネス研究)
平舘	○						○	○					○	
雫石						○	○	○						○(コンピュータ、郷土芸能)
紫波総合			○	○			◇			○			○	○(文化研究、郷土芸能、理科研究)
花巻北	○	○			○	○	○		○		○	○	○	○(放送、合唱)
花巻南	○	○	○				○	○		○	○	○	○	○(家庭、JRC、日本音楽)
花巻農業							○		○		○		○	○鹿踊り
花北青雲											○	○		○(珠算、OA、工学研究、商業研究、生活研究、PFSC)
大迫											○			○(学芸(神楽・美術・書道)、JRC)
黒沢尻北	○		○	○	○	○	○		○	○		○	○	○(放送、応援)
北上翔南			○	○			○		○	○			○	○(家庭、器楽、パソコン、JRC、鬼剣舞、AMI)
黒沢尻工業	○								○		○		○	○(無線、編集、ボランティア、コンピュータ工作)
西和賀											○		○	
水沢	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○フォークロック
水沢農業											○			○(民族舞踊、あぐりカルチャー、芸術文化)
水沢工業											○		○	○(機械工作、無線・情報)
水沢商業							○				○		○	○(ワープロ、珠算電卓)
前沢											○		○	○(総合文化、JRC)
金ヶ崎											○		○	
岩谷堂		○	○				○	○	○		○		○	○(アニメーション、鹿踊り、JRC、家庭)
一関第一		○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○(競技歌留多)
一関第二		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○(理科研究、JRC、太鼓道場、商業研究)
一関工業	○								○					○(放送、情報技術研究、工学研究、生活文化)
花泉				○			○							○総合文化
大東				○			○	○			○		○	○(ワープロ、鹿踊り)
千厩			○	○			○		○	○			○	○箏曲
高田							○			○	○		○	○(パソコン、JRC、家政)
大船渡	○		○		○		○			○	○	○	○	○(報道、JRC)

〈 文化部 〉

学校名	主な部活動												その他	
	囲碁将棋	語学・国際理解	演劇	音楽	科学(自然科学)	軽音楽	茶道	華道	写真	書道	吹奏楽	文芸・文学研究		美術・芸術
大船渡東							○	○		○	○		○	○(太鼓、ロボット、インターアクト、ビジネス)
住 田													○	【前期】 ○パソコン、特設文化部 【後期から】 ○総合文化部
釜 石	○			○	○			○					○	
釜石商工							◇	◇	○				○	○(ワープロ、工業)
遠 野				○			◇						○	○(商業、邦楽)
遠野緑峰							○	○	○	○	○		○	○馬事研究
大 槌										○	○		○	○(OA、インターアクト)
山 田													○	○総合文化部(茶華道、書道、パソコン)
宮 古				○	○		○	○		○	○		○	
宮古北							○	○	○				○	○手芸
宮古商工							○			○	○		○	○(家政、ワープロ、太鼓、工作、商業同好会、工業同好会)
宮古水産							○	○	○					○(太鼓、パソコン、料理手芸)
岩 泉													○	○(郷土芸能、総合文化)
久 慈			○	○	○		○						○	○マンドリン
久慈東	○						○	○	○	○	○	○	○	○(コンピュータ、手芸) ◇チアダンス
久慈工業													○	○(工学研究、料理)
種 市													○	○総合文化
大 野													○	○総合文化
軽 米				○						○	○		○	
伊保内													○	○郷土芸能
福 岡		○	○	○	○		○			○	○	○	○	
福岡工業														○総合文化
一 戸				○			○	○		○	○		○	○華一

※北桜(仮称)については、福岡工業、一戸の設置部活動を参考としてください。



[定時制・通信制課程]

< 運動部 >

学校名	主な部活動								
	剣道	柔道	バレーボール	ソフトテニス	卓球	バスケット	バドミントン	陸上競技	その他
杜陵（定）	○	○		○	○	○	○	○	☆軟式野球
杜陵（通）				○	○		○	○	
盛岡工業					○	○	○	○	
杜陵奥州（定）				○	○		○		
杜陵奥州（通）				○	○		○	○	
一関第一							○		○運動同好会
大船渡					○		○		
釜石					○		○	○	
宮古（定）									○総合運動部
宮古（通）					○		○		
久慈長内					○	○	○	○	
福岡					○		○	○	

< 文化部 >

学校名	主な部活動								
	囲碁将棋	演劇	音楽	茶道	写真	書道	文芸・文学研究	美術・芸術	その他
杜陵（定）	○	○	○	○	○	○	○	○	○（ボランティア、イラスト）
杜陵（通）	○		○				○	○	○家庭クラブ
盛岡工業									
杜陵奥州（定）								○	
杜陵奥州（通）			○				○		
一関第一									○文化
大船渡									
釜石									
宮古（定）									○総合文化部
宮古（通）									
久慈長内									○文化
福岡									

授業料などについて

◇ 授業料及び通信制受講料の高等学校等就学支援金制度

高等学校等就学支援金制度は、全ての高校生などが安心して勉学に打ち込める社会をつくるため、授業料および通信制受講料（以下「授業料など」という。）に充てる高等学校等就学支援金を生徒に支給し、家庭の教育費負担を国が支援する制度です。

法律により、平成 26 年 4 月入学生から就学支援金の受給資格を得るためには申請が必要となり、「(市町村民税課税標準額) × 6% - (市町村民税調整控除の額)」が 30 万 4,200 円（年収 910 万円程度）未満の世帯の生徒には、「就学支援金」が授業料などに充てられ、結果、授業料などの納付が不要（私立については軽減）となります。

申請・届出手続

- ・ 1 年 生 → 1 回目 4 月入学時（申請 + 個人番号カードの写しなど又は前年度の課税証明書など）
2 回目 7 月（届出 + 当該年度の課税証明書など）

- ・ 2 年生以降 → 毎 年 7 月（届出 + 当該年度の課税証明書など）

※ 申請・届出については、令和 3 年度からオンライン上での手続きとなっています。

※ 1 回目（4 月入学時）の申請において個人番号カードの写しを提出する場合、以降の手続きは基本的に不要となります。

就学支援金の対象者

- ・ 高等学校などを卒業、修了していない生徒
- ・ 高等学校などに在学している期間が通算して 36 月（定時制については 48 月、通信制課程については 48 月かつ履修単位 74 単位）を超えていない生徒

- ・ 保護者などの「(市町村民税課税標準額) × 6% - (市町村民税調整控除の額)」が 30 万 4,200 円（年収 910 万円程度）未満の世帯の生徒

※ 専攻科の生徒は、高等学校等就学支援金制度の対象外となりますが、高等学校等専攻科修学支援金制度の対象となる場合があるので、学校の事務室などにお問い合わせください。

※ 収入要件を満たさない場合でも、やむを得ない理由によって家計が急変した場合、高等学校等就学支援金家計急変支援制度の対象となる場合があるので、学校の事務室などにお問い合わせください。

就学支援金の額

[公立]

- ・ 全日制 → 月額 9,900 円
- ・ 定時制 → 月額 2,700 円
- ・ 通信制 → 1 単位につき 190 円

[私立]

- ・ 全日制 → 月額 9,900 円～33,000 円
- ・ 通信制 → 1 単位につき 4,812 円～12,030 円

制度対象外となり、就学支援金が支給されない場合は、次の授業料等を納入していただくことになります。

[公立]

- ・ 全日制 → 年額 118,800 円（月額 9,900 円）
- ・ 定時制 → 年額 32,400 円（月額 2,700 円）
- ・ 通信制 → 1 単位につき 190 円

[私立]

- ・ 私立高校の場合、各高校で授業料が異なります。

※ 私立高校の場合、「(市町村民税課税標準額) × 6% - (市町村民税調整控除の額)」に応じて就学支援金が支給されます。

注 意 事 項

- ・ 就学支援金制度は、平成 26 年度入学生から対象となります。
- ・ 就学支援金は、授業料などに充てるものであり、申請者（生徒や保護者）に直接支給するものではありません。
- ・ 教科書代や P T A 会費などの学校徴収金については、就学支援金の対象とはなりません。

◇ 詳しいことは、入学した学校にお問い合わせください。

高校生等奨学給付金について

◇ 高校生等奨学給付金制度

全ての高校生などが安心して教育を受けられるように、授業料以外の教育費*負担を軽減するため、道府県民税所得割額及び市町村民税所得割額が非課税の世帯を対象に、公立高等学校生徒等奨学給付金及び公立高等学校等専攻科生徒奨学給付金を給付しています。(返済は不要。)

※ 授業料以外の教育費とは、教科書費、教材費、学用品費、通学用品費、校外活動費、生徒会費、PTA会費、入学学用品費などのことです。

申請方法など

- ・ 県内の高校に進学した場合 → 進学先の学校に、申請書などの必要書類を学校が指定する期日までに提出してください。
- ・ 県外の高校に進学した場合 → 県教育委員会教育企画室に、申請書などの必要書類を9月下旬*までに直接郵送してください。

※ あらかじめ、提出期限を確認してください。

支給要件

基準日（7月1日）現在、次のすべての要件を満たすこと

- ・ 生徒が公立の高等学校など（高等学校、中等教育学校後期課程、高等専門学校（1年～3年）、専修学校高等課程、高等学校専攻科、中等教育学校専攻科など）に在学していること。（特別支援学校高等部の生徒を除く）
- ・ 保護者（親権者）が岩手県内に居住していること。（注意事項をご覧ください）
- ・ 児童福祉法による見学旅行費または特別育成費が措置されていないこと。
- ・ 保護者全員の道府県民税所得割額および市町村民税所得割額が0円（非課税）である世帯または生活保護受給世帯であること。

生徒1人あたりの支給額

対象者		国公立 (年額)	(参考) 私立 (年額)
生活保護受給世帯の高校生など	全日制・定時制・通信制の課程	32,300円	52,600円
非課税世帯の高校生など	全日制・定時制・の課程	第1子の高校生など	117,100円
		第2子以降の高校生など	143,700円
	通信制の課程	50,500円	52,100円
専攻科生徒（生活保護受給世帯・非課税世帯）		50,500円	52,100円

※ 支給が決定された場合、届出の口座に振り込まれます。（10月下旬頃）

注意事項

- ・ 生徒が県内の高校などに進学しても、保護者などが県外に住所を有している場合は、保護者が居住する都道府県に申請することになります。
- ・ 事実と異なる申請を行い、給付を受けた場合は全額返還となります。

◇ 詳しいことは、入学した学校にお問い合わせください。

奨学金制度について

◇ 岩手育英奨学会

保護者が岩手県内に住所を有し、高等学校等（高等学校、中等教育学校後期課程、特別支援学校の高等部、専修学校の高等課程）に入学（進学）した、優れた生徒で経済的理由により修学に困難がある方に、修学に要する費用の一部をお貸しします。応募資格によって、4つのタイプに分けられます。

申込みと手続

すべて学校を通じて行いますので、学校に申し込んでください。

採用種類と貸与金額(月額)

[タイプA] (無利息)

区分	採用種類	募集人員	募集時期
予約	中学校3年生に在学し、翌年度に高等学校または専修学校（高等課程）に進学を希望する人を対象とした制度	200人程度	9月
在学	高等学校または専修学校（高等課程）に在学している人を対象とした制度	500人程度	4月
緊急	高等学校または専修学校（高等課程）に在学し、概ね1年以内に家計が急変したため奨学金を希望する人を対象とした制度	若干名	7月から

区分	国公立		私立		備考
	自宅通学者	自宅外通学者	自宅通学者	自宅外通学者	
予約	18,000円	23,000円	30,000円	35,000円	
在学	18,000円	23,000円	30,000円	35,000円	
緊急	18,000円	23,000円	30,000円	35,000円	

[タイプB] (無利息)

区分	採用種類	募集人員	募集時期
予約	中学校3年生に在学し、翌年度に県内の高等学校全日制課程に進学を希望する人を対象とした制度	200人程度	9月

区分	貸与額(国公立・私立共通)		備考
予約	月額	15,000円、20,000円、25,000円、30,000円、35,000円	5タイプから選択
	入学一時金	なし、50,000円、100,000円、150,000円、200,000円	5タイプから選択

[タイプC] (無利息) 震災特例奨学金

区分	採用種類	募集人員	募集時期
在学	東日本大震災津波などにより被災*し、高等学校または専修学校(高等課程)に在学している人を対象とした制度。 [※ 次のいずれかに該当する者] ・ 家計支持者の居住する家屋の全壊・大規模半壊・半壊・全焼・半焼 ・ 家計支持者の死亡・行方不明 ・ 家計支持者の勤務先などが被災したことにより家計が急変し、継続している場合 (収入が3分の2程度に減少)	該当者すべて	6月から

区分	国公立		私立		備考
	自宅通学者	自宅外通学者	自宅通学者	自宅外通学者	
在学	18,000円	23,000円	30,000円	35,000円	

[タイプD] (無利息) 大学等進学支援

区分	採用種類	募集人員	募集時期
在学	岩手県内の高等学校等の2年生に在学している低所得者世帯(生活保護世帯を含む)であり、大学等*への進学を希望する人を対象とした制度。 [※ 対象となる大学等の区分] ・ 大学・短期大学 ・ 高等専門学校(進学に試験等を要する場合) ・ 専修学校・各種学校	170人	9月

区分	貸与額(国公立・私立共通)	備考
在学	150,000円	

貸与期間

タイプ	区分	貸与期間
A	予約	入学した年の4月から卒業するまでの正規の修業期間
	在学	採用した年の4月から卒業するまでの正規の修業期間
	緊急	緊急採用事由が発生した月から卒業するまでの正規の修業期間
B	予約	入学した年の4月から卒業するまでの正規の修業期間
C	在学	採用した年の4月から翌年の3月(年度末)まで
D	在学	高等学校等2学年時の3月期(一括)

返 還

- ・ 貸与総額により返還期限（最大14年以内）が決められており、原則は、「月賦払」となりますが、「月賦払と半年賦払との併用」による返還方法とすることもできます。
- ・ 返還を怠った場合は、延滞利息が発生します。
- ・ **タイプC**では、高等学校等卒業後の向こう1年間の収入見込額が一定額^{※1}に満たない場合、願い出により返還が免除されます。
- ・ **タイプD**では、最大5年以内に返還する必要があります。ただし、下記区分^{※2}に該当し、申請があった場合は審査により返還が免除されます。
ただし、高等学校または専修学校高等課程を中途退学した場合は、返還は免除されません。
- ・ いずれの奨学金も、貸与終了（通常は高等学校など卒業）後、6か月の返還の据え置き期間があります。

[※1 タイプCの返還免除基準収入額]

最終卒業学校	返還免除基準収入額
高等学校など	330万円
短大など	380万円
大学など	420万円

[※2 タイプDの返還免除基準区分]

区分		免除の条件
大学 進学	県内	入学したことの確認をもって免除とする
	県外	
短期大学、高等専門学校又は各種学校に 進学 (県内外の区分なし)		卒業後、一定期間県内企業・団体等に就職したことの確認をもって免除とする。

◇ 詳しいことは、公益財団法人 岩手育英奨学会のホームページで確認してください。
アドレス <http://www.iwate21.net/ikuei-syougaku/>

◇ 岩手県が行っている他にも、市町村や民間団体が行っている様々な奨学金制度があります。

いわての学び希望基金奨学金について

◇ いわての学び希望基金奨学金給付事業

岩手県で東日本大震災津波に被災し、親を失った児童・生徒および学生（県外に転居した者を含む）が給付型奨学金を受けられます。

対 象 者

東日本大震災津波に被災し、親を亡くした、または親が行方不明となった子どもで、**学校に在籍する児童、生徒などを対象**としています。

申 請 方 法

前年も受給されている方が継続して給付を受けるためには、毎年4月中に、現況報告書を学校に提出してください。

給 付 金 額

4ヵ月分を7月、11月、3月に給付する**定期金**と、高等学校を卒業した時に給付する**一時金**があります。

種 類	給付金額
定期金（月額）	50,000 円
高校卒業一時金	(自 宅) 300,000 円 (自宅外) 600,000 円

◇ 詳しいことは、岩手県教育委員会のホームページで確認してください。

アドレス <https://www.pref.iwate.jp/kyouikubunka/kyouiku/ippan/koho/1006260/1006262.html>

※ ページの場所：岩手県ホームページのトップページ > 教育・文化 > 教育 > 教育一般 > 広報・お知らせ > いわての学び希望基金奨学金等の御案内 > いわての学び希望基金奨学金の給付について



岩手県教育委員会事務局 学校教育室 高校改革担当

〒 020-8570 岩手県盛岡市内丸 10-1

電話番号 019-629-6206

F A X 番号 019-629-6144



■ハイスクールガイド ホームページアドレス

<https://www.pref.iwate.jp/kyouikubunka/kyouiku/gakkou/senbatsu/1066239/index.html>